

町村新報

發行日 毎月二回 十五日廿日
編輯兼印刷發行 酒井秀吉
發行所 福島縣石城郡磐梯村大字
下湯長谷野三十八番地
町村新報社
定額 一月七錢(郵税共)
三月二十一錢 半年四十二錢
一年七十七錢 全年一百一十二錢
廣告料 一行金二十錢
別色刷 四十錢

社説

残された問題

軍縮に必要な
國民的啓蒙

ロンドン海軍條約の結果
わが國がこれによつて國防
上の危険を招いたと思はさ
れてゐるものも相當あるだ
ろう。

延いてこれに對する前軍令
部首腦者の態度を是とし、
あるひはこれによつて内閣
の危機を招いてもよいとし
また隨つてかの航空軍大擴
張の計畫もやむを得ずとな
し、これに反する意見は皆
わが國防を無視する短見よ
りくるものもあるかも知
れない。かような主張をす
るものは、この問題にのみ
限らず、種々な問題をこの
立場から判断して、常に無
用の葛藤をひき起したがる
この際に於てかような人々
を十分に啓蒙して置く努力
の必要を感ずる。もとより
吾が國民として吾が國民利
福を思はぬ者はない。國防
の危機を叫んでロンドン協
定を非難する者も、吾が國

第一は、軍部が國防に對
する決定權を主張して、内
閣の存在を危ふからしめる
如きことは避けねばならぬ
のみに對して、何故内閣
の忠誠なる軍部の意見を國民
的のものといはぬかと云ふ
非難である。これは今日の
政治そのものを理解する人
にとつては滑稽に見える程
であるが、しかしこの見解
は吾が國民の間に可なり力
強いのである。つまり之は
立憲政治即ち責任政治とい
ふ意味を知らぬ所から來て
何なるサタン(惡魔)に遭遇
しようとする自我の鉄塔に
立ち上つて飽く迄嚴正公平
なる立場に立脚しつゝ、士
發揚の(モトリアム運動)の
ため貢献せんとす。冀は本
紙を擔ふて更生の意更に
從來極めて稀であつた
桑畑方面に小作爭議が續出
して來た、大体小作料三割
位の引下を要求してゐる模
様である。

聖の憲法の旨に悖るのみならず、
立憲政治そのものが
遂に行はれないことなる
吾が國民は口を開けば、常
に憲政有終の美を濟すこと
を高調する。しかしその憲
政とは何かといふことにな
ると、頗る漠然たるもので
かくの如き憲政の本質に關
する問題に於ても、その希
望するところを自ら破る意
見を出して毫も怪しまない
のである。

本紙を擔へ 更生の願誓

鈴木 繁 (照海)

光陰矢の如く(サラリー
マン)としての旅を續ける
事春風秋雨十五ヶ年茲に酒
井氏の經營に依る町村新報
の筆を擔ふてゐる。今日何
れも一介の文筆労働者として何
等郷土に文獻なくも土重來
農村では最近米價が多少高
なつたが米の所有は大部
大地主ばかりで、中小農
民はかへつて悪影響を蒙つ
てゐる状態であるが、これ
もともに爾後暴落はかなり
深刻に影響し、すでに長野
山梨、群馬、埼玉縣では
山村舉つて借金支拂延期同盟
(モトリアム運動)の新運
動さへあると、うわさされ
動さへあると、うわさされ

桑畑にも
小作爭議
新現象
爾後暴落から

小名濱縣支金庫

縣金庫である本縣農工
銀行では一般の便宜を計る
ため小名濱町七十七銀行支
店に縣支金庫事務の取扱は
せることとなつた。

短評名士録
郡司二郎君
小名濱大敷は、白井一門
の純生郷土人士の手に依つ
て經營せらる。記者は黨派
的偏見を排して、事業を直
視するものだ。經濟的の石城
のモノロー主義石城の事業
は石城人の手により〇〇を
高唱するものだ、かゝる意
味よりして、小名大敷網の
事業を推讃するものである
然も君は漁夫と共に寢食を
共にし、ブル生れにして、
一個の労働服を纏ひ、眞黒
になつて流汗、労働に従事
する二郎、三郎、兩君の姿
を見ては大敷網に絡まる世
上の噂も、黨派的偏見も雲
散霧消せざるを得ない。

杉山今朝吉君

君は内郷村白水不動澤の
一角に陣營を張り、日夜孜
々營々として炭礦事業を生
命として健闘する。君は秋
田人特有の熱血と健忍不拔
の鉄意の所有者である。多
くの労働者諸君と共に共勞
共働し、相互扶助、勞資協
調温情主義を以て従業者に
接する君が態度は資本家と
して絶えずに足る。兎角
鑛山事業や海洋事業は冒險

的性質を帯び、従つて其種
の産業革命の警鐘を亂打し
然だ。處で政友會あたりで
海洋國立の國策樹立の方針
は大に警戒してゐるとの噂
快男子が多い。君はまさに
を實物實行、以て明示して
居る。氏は熱血多感の政
治家肌と浪人氣質と業家氣
質がすばらしく着實に事業
を質をゴツチャにして、而
も進展する。君は用意周到思
慮綿密の炭礦人であるが共
氏は多面多角、多種多様の
一度事業に直面するや猛
虎の如く振ひ起つて百難を
排して事業を遂行する。虚
が事務所殺到も集來する所
謂「新聞記者」を誰彼なく快
然として、迎接するが故に
氏は記者以上の新聞記者た
るの一面觀がある。ゲチ
く、の如く記者の來訪を排
拒する人々は、斯仁の文化的
明智達識の第一人者
荒井平警察署長

荒井平警察署長

管下數十名の警察官吏を統
御し居ながらにして其人々
の一舉手、一投足をも察知
して得らるゝ程の明才を有し
てゐる、荒井氏は才能に長
せる人であり、又手腕力
量に富んでゐる人材である
警視となつて福島署長にな
るの前任地たるは代々警察
部長の希望する處であるが
自ら警部に甘んじて其職に
精進する愛縣心の厚きに感
謝せざるを得ない。
笑つて居ても
油断が出来ぬ
矢野警部補

政友會では十分の警戒
矢野氏は社交にも長じて
決裁振りには何人にも感服
評され大敷網と一黨のし
常州健兒諸氏は、郷土磐城
人に加へられてゐるのは當

- 西丸豊三 電話六十七番
- 田丸屋商店 電話一〇五番
- 山形屋 電話四番
- 温泉旅館
- 和洋酒類
- 木村仁吉
- 石川八郎
- 人事周施業
- 先崎集惠
- 山本健次郎
- 高橋隆雄